

全建発第7-111号
令和7年 8月 7日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

令和7年度 実地研修会（大河津分水路改修事業）の開催について

謹啓 本協会事業について、平素よりご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記実地研修会を別紙のとおり開催いたします。

本実地研修会では、信濃川の治水事業の歴史について研修するとともに、日本最大級の治水事業である大河津分水路の令和の大改修事業、BIM/CIMの高度活用等について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

全建発第7-112号
令和7年 8月 7日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

令和7年度 実地研修会（大河津分水路改修事業）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は、国土交通省・農林水産省をはじめ、都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約5.6万名で構成されています。

建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上、連携・交流の促進を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び、良質な社会資本の整備・保全を通じて、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会では、建設技術講習会（10開催/年）と実地研修会（5コース/年）を実施しており、建設技術講習会では、道路、河川等各部門の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新等、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げております。また、実地研修会では、明石海峡大橋、東日本大震災の復興と現状など、一般に視察が困難な現場等を少数で視察することとしています。

これらの講習会・研修会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

本実地研修会では、信濃川の治水事業の歴史について研修するとともに、日本最大級の治水事業である大河津分水路の令和の大改修事業、BIM/CIMの高度活用等について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を研修の場として活用されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

主催：(一社)全日本建設技術協会 後援：国土交通省

令和7年度 実地研修会
大河津分水路改修事業 ～日本最大級の治水事業とその歴史～ 概要

(1日目) 開場14:00		令和7年10月 9日(木) 【聴講】		(敬称略)
14:40 }	大河津分水と信濃川	Love River Net 代表	樋口	勲
15:30				
15:40 }	大河津分水路「令和の大改修」事業について	国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所 所長	土屋	修一
16:30				
17:30 }	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円> (調整中)			
19:00				
(2日目) 集合(乗車) 8:10～		10月10日(金) 【現場研修】		
J R新潟駅南口(PLAKA1前) (8:30) 出発 → 信濃川大河津資料館／可動堰／洗堰 他 → 昼食(長岡市内) → 新第二床固／新野積橋架替／山地部掘削 他 → J R燕三条駅(15:25) → J R新潟駅南口(16:00) 着後解散 ※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。				

全建CPD制度(建設系CPD協議会加盟)：聴講1.5単位 / 現場研修1.5単位

聴講会場 ガレソホール
〒950-0086 新潟県新潟市中央区花園1-2-2 コーポシティ花園 ガレソ 4F
TEL:025-248-7511

現場研修事業の概要

大河津分水路改修事業

…………… 新潟県燕市、長岡市

【大河津分水路の役割】

大河津分水路は、新潟県のほぼ中央部で信濃川が日本海に最も近づく地点の燕市大川津から長岡市寺泊海岸までの全長約10kmを繋いだ大正11（1922）年8月25日に通水した人工水路である。この分水路は、日本有数の穀倉地帯である越後平野を水害から守る重要な役割を担い、信濃川の洪水を日本海へ流すことで、越後平野の発展に寄与してきた。令和4（2022）年には通水から100周年を迎えた。

【改修の必要性】

大河津分水路の川幅は、信濃川の分派点付近で約720mであるのに対して、河口部では約180mと狭くなっているため（図1）、洪水が流れにくく、洪水処理能力が不足している。また、河床低下を防ぐために設置された第二床固は、設置から約90年が経過し、コンクリートの劣化によるひび割れなどの老朽化が進行している（図2）。

これらの課題を解決するため、平成27年度より川幅を約100m拡幅し、第二床固の下流に新たな床固を設置する事業に着手している（図3）。この事業により、大河津分水路の上流に位置する長岡地区の洪水処理能力も向上し、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させることにつながる。



図1 大河津分水路の河道形状



図2 老朽化が進行する第二床固



図3 現在の事業実施状況

【事業実施状況】

現在、河道拡幅のための山地部掘削、河道拡幅に伴う野積橋の架替、第二床固改築工事を鋭意実施している。

現況河道部の第二床固の改築工事は、河道内での工事となることから、鋼殻ケーソンを利用してコンクリートを打設している。これまでに現況河道部の本体天端高T.P. 1.0mまでの部分を完了し、引き続き、右岸側の魚道を進めている（令和7年7月時点）。

また、本事業では、「3次元データ」を活用し、施工状況を可視化するなどし、事業の効率化を目的とした取組も行っている（図5）。

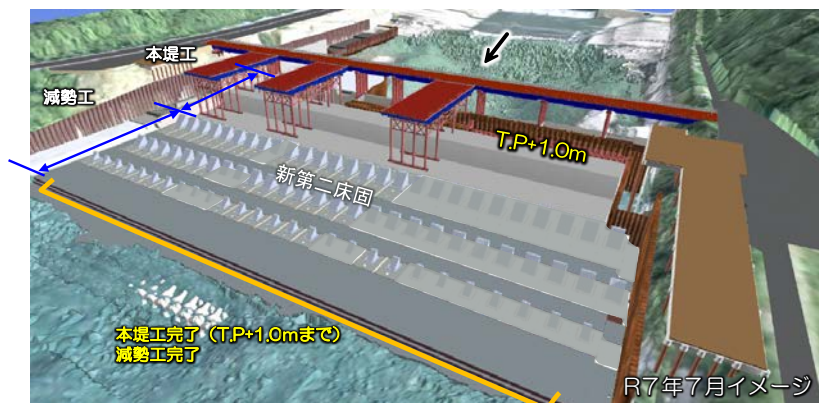


図4 第二床固改築工事の進捗状況

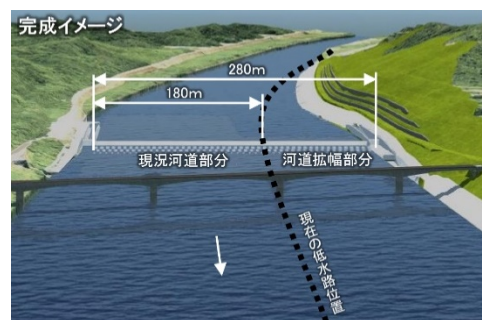


図5 3次元データを用いた事業の完成イメージ

【令和元年東日本台風洪水を受けての事業計画変更】

事業着手後の4年目に発生した令和元年東日本台風による洪水は、信濃川水系において戦後最大規模の洪水となった。上流部の千曲川では、越水による堤防決壊が発生するなど甚大な被害が発生した。

大河津分水路においても計画高水位を約10時間も超過するなど、非常に危険な状態となった（図6）。

これを受け、令和元年東日本台風洪水と同規模の洪水に対して、家屋の浸水被害の防止又は軽減を図るため、河川整備計画を令和4年12月に変更した。これに伴い、大河津分水路改修事業においても、上流の低水路拡幅のための掘削を追加し、事業期間も令和20年度まで変更した（図7）。



図6 令和元年東日本台風洪水時のJR越後線地点での流況

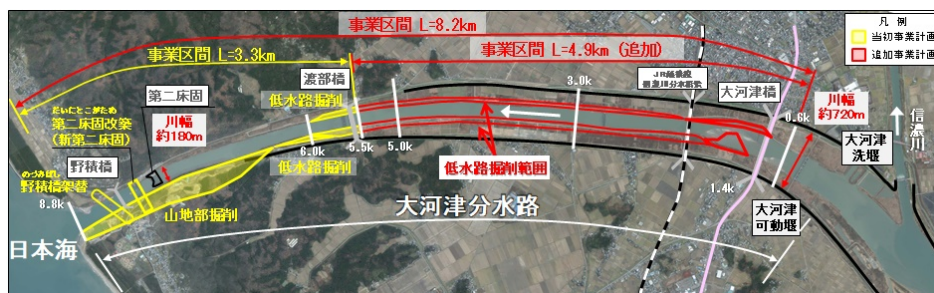


図7 大河津分水路改修事業計画図（令和4年12月変更）

**令和7年度 実地研修会 大河津分水路改修事業
～日本最大級の治水事業とその歴史～ 募集について**

1. 日程：

【聴講】令和7年10月9日（木）（開場14:00～）14:40～16:30

ガレツソホール

〒950-0086 新潟県新潟市中央区花園1-2-2 コープシティ花園 ガレツソ4F

（別紙「聴講会場及び現場研修集合場所案内図」参照）

【現場研修】令和7年10月10日（金）8:30～16:00

（集合）JR新潟駅南口（PLAKA1前）（8:30）出発

- 信濃川大河津資料館／可動堰／洗堰 他 → 昼食（長岡市内）
- 新第二床固／新野積橋架替／山地部掘削 他
- JR燕三条駅（15:25） → JR新潟駅南口（16:00）着後解散

2. 募集人数：50名

3. 研修料：

一般（非会員）……………20,500円（税込）

正会員・特別会員・賛助会員……………17,500円（〃）

- ・一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにしてください。
- ・研修料は、1～2日目の費用です。幹旋宿舎の宿泊料は含みません。
- ・現場研修時の昼食代（1,430円、税込）を含みます。

なお、行程の都合上、全員の昼食を用意します。不要の申し出はできませんのでご了承ください。また、食物アレルギーをお持ちの方は、zenken-desk@tobutoptours.co.jpまでお知らせください。

4. 申込み方法：

申込書に必要事項を記入し、メールにて東武トップツアーズ㈱へお申込みください。

- ・申込者数が募集定員以内の場合、参加できる旨をご通知します。
- ・募集定員を超えた場合、（一社）全日本建設技術協会にて選考し結果を通知します。
- ・選考の通知は、9月16日頃を予定しています。

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

5. 申込み締切：令和7年9月11日（木）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

6. 申込み先：東武トップツアーズ㈱

Mail tobutop@zenken.com

申込みのお問合せ 全建担当 田中

TEL 050-9014-8593 FAX 03-6908-8043

7. 送金先：三井住友銀行 首都圏支店 普通 1158116

トウブトップツアーズ（カ） トウキョウハウジンチュウオウジギョウブ

研修料の振込みは、選考結果の通知後をお願いします。

※振込手数料はご負担願います。

8. **変更・取消し**：申込みの変更又は取消しが生じた場合、申込用紙に変更箇所がわかるように記入し、メールタイトルに「変更」又は「取消」と明記の上、6.の申込み先宛にメールで送付してください。なお、取消しの場合には、取消し日に応じて下記の取消料が発生します。
※電話での受付はできません。

【取消料】

取消し日	取消し料
20日前～8日前	研修料の 20%
7日前 ～前々日	研修料の 30%
前日	研修料の 40%
当日	研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の 100%

- ・取消し等に伴う返金について
開催終了後に所属協会等の指定口座へ、取消し料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。
なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消しの場合は、取消し日に関わらず全額（振込手数料は本協会負担）をご返金いたします。

9. **研修同行員**：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と東武トップツアーズ(株)1名が同行します。

10. **その他**：

- ・視察資料は当日、参加証は終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
- ・事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ (<http://www.zenken.com/>) もご覧ください。

11. **視察研修企画**：（一社）全日本建設技術協会

東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル
視察研修のお問合せ 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640
MAIL kensyu@zenken.com

12. **ご相談窓口**：東武トップツアーズ株式会社東京法人中央事業部

東京都港区港南1-8-15 Wビル18階
TEL 050-9014-8593
FAX 03-6908-8043
MAIL zenken-desk@tobutoptours.co.jp
登録番号：T4013201004021
観光庁長官登録旅行業第38号 （一社）日本旅行業協会正会員

聴講会場及び現場研修集合場所案内図



聴講会場 ガレッソホール

新潟県新潟市中央区花園 1-2-2 コープシティ花園 ガレッソ 4 F

宿泊斡旋のご案内

①**宿泊斡旋**：宿泊希望者には新潟市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

②**宿泊予約申込**：別紙申込書の「宿泊斡旋希望」欄に「○」を記入しお申込みください。

選考にもれた場合、宿泊申込みは自動的にキャンセルになります。

③**申込み先**：東武トップツアーズ(株)東京法人中央事業部(営業時間 9:30～17:30 土日祝休)

mail tobutop@zenken.com

tel 050-9014-8593 fax 03-6908-8043

申込み後の宿泊予約の取消し・変更については上記までご連絡ください。

④取消について

宿泊日の 20 日前	6 日前	前日	当日	不泊
宿泊代金の 10%	宿泊代金の 20%	宿泊代金の 40%	宿泊代金の 80%	宿泊代金の 100%

土日祝日及び営業時間外のキャンセルの場合、翌営業日での取扱とさせていただきます。

取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

⑤宿泊施設名・宿泊料金 10/9(木)

宿泊施設名・所在地・電話番号	部屋タイプ	斡旋人数	宿泊料金(1泊朝食付き、税サ込)
ホテルサンルート新潟 〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通1丁目11-25 TEL：025-246-6161	禁煙 シングル	11名	9,350円 朝食6:30～2Fにて

※申込締切後、ご宿泊者決定次第、東武トップツアーズ(株)よりご希望の方へご請求書を送付いたします。

※宿泊代金は東武トップツアーズ(株)東京法人中央事業部までお支払いください。

※定員を超えた場合は代替ホテルでのご案内になります。予めご了承ください。

宿泊宿舎及び会場の案内図

現場研修集合場所

JR 新潟駅南口送迎バス乗降場

8:10 集合(乗車)、8:30 出発

斡旋ホテル

ホテルサンルート新潟



聴講会場

ガレソホール

令和7年度 実地研修会（大河津分水路改修事業）に参加の皆様へ
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



（一社）全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、「参加者同士の交流会」を開催しています。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和7年10月9日（木） 17:30 ～ 19:00（予定）

場所：聴講会場～JR新潟駅周辺の飲食店を予定

会費：2,000円
（受付時にお支払いください）

※都合により、開催を中止とする場合があります。

※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。

※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は、申込書の「交流会」欄に〇印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る

①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換） ②意見交換・情報交換

2. 参加者と講師との交流・懇談

①講師との交流

②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。

＜問合せ＞ （一社）全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com